ニューズレター雪氷北信越

No.69　1999年10月10日
(社)日本雪氷学会北信越支部発行

目次

＜案内＞
塩沢「雪」展（9/14～11/14・塩沢町）
第24回雪氷防災研究会（11/26・小千谷市）
自然・未利用エネルギーによる雪寒対策技術シンポジウム（12/2～3・福井市）
＜報告＞
わくわく雪・氷観察塾(8/2)
＜その他＞
支部幹事の追加について

＜案内＞

塩沢「雪」展のご案内

新潟県塩沢町の鈴木牧之記念館では，開館十周年記念特別展の一環として雪の科学・文化・人物に関する各種展示を集めた塩沢「雪」展を下記の通り開催しています。この展示には多くの雪氷学会会員が協力していますので，ぜひ一度ご覧ください。

１．場所

鈴木牧之記念館

新潟県南魚沼郡塩沢町大字塩沢1112-2　　Tel:0257-82-9860

２．期間

1999年9月14日（火）～11月14日（日）　9:00～16:30

（月曜休館，月曜日が祝日の場合は翌日が休館）

３．主な展示

(1)荘田幹夫博士に関する展示（博士ゆかりの写真，機器，博士が監修した雪崩映画）

(2)塩沢雪害防止実験所に関する展示（実験所に関するパネル等の展示）

(3)雪形に関する展示（塩沢の雪形，越後の雪形，パネル及び写真展示）

(4)お酒のラベルにみる雪（和泉薫氏の雪酒（ボトル，箱，ラベル）コレクション）

(5)ナダレンジャー１号（納口恭明氏考案の雪崩のミニチュア実験装置）

４．　観覧料

一般500円，小・中・高生250円

（河島幹事　記）

＜案内＞

第24回雪氷防災研究会開催のお知らせ

日時：1999年11月26日(金) 13:00～17:00

会場：小千谷市総合産業会館 サンプラザ・大ホール

小千谷市城内1-8-25　TEL.0258-83-4800

主催：科学技術庁 防災科学技術研究所

共催：小千谷市

後援：新潟県

プログラム：

(1)克雪・利雪・親雪の現状

防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所　小林俊市

(2)酒の雪中貯蔵を通して利雪・親雪に思うこと

おぢや利雪研究会(新潟銘醸株式会社)　山下　進

(3)雪・あられ・雨を判別して測る

新潟県立小千谷高等学校　田村盛彰

(4)雪の縮について

防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所　山田　穣

(5)雪崩の発生を検知する新技術

(財)鉄道総合技術研究所 塩沢雪害防止実験所　河島克久

(6)雪国における防災の知恵―雪崩の災害文化を考える

新潟大学積雪地域災害研究センター　和泉　薫

問い合わせ先：長岡雪氷防災実験研究所　小林俊市

TEL.0258-35-7522　FAX.0258-35-0020

（小林幹事 記）

＜案内＞

自然・未利用エネルギーによる雪寒対策技術シンポジウム

趣旨： 地球環境との共生に向けての国際的な排出ガス削減目標に対しては、いろいろな分野での具体的な技術の進展が必要であり、雪対策技術についても自然・未利用エネルギーを使った研究開発や事例が展開されつつある。一部はすでに実施段階にあり、それらの知見と情報を一堂に集め、参加者の力をあわせてさらなる発展と普及をはかることを目的とする。

主催：シンポジウム実行委員会

福井大学地域環境研究教育センター・福井県・(社)雪センター

共催：福井雪害対策研究会・福井県雪技術研究会・福井県雪対策協議会

後援：(社)日本雪氷学会・日本雪工学会 他

期日：1999 年 12 月 2 日(木)～3 日(金)

場所：福井県民会館（福井県庁西側）tel.0776-23-8400

プログラム

１２月２日（木）

13:00　開会

13:20　基調講演：「世界の冬期道路管理基準と説明責任・事業評価の動向」
　　講演者：石本敬志　（社）北海道開発技術センター・常任参与
　　（前　開発土木研究所　構造部長）

14:30　パネルディスカッション：「地球環境時代の雪技術」
　　パネラー：　石本敬志　（前記）
　　村松敏光　建設省土木研究所　機械研究室長
　　宮本重信　福井県雪対策・建設技術研究所　主任研究員
　　奥居稠朗　株式会社　サンワコン　代表取締役社長
　　司　会：　福原輝幸　福井大学・工学部　教授

14:50　休憩

15:00　ポスターセッション（16:00 以降も継続）
　　１部：研究発表　地熱利用・新技術４題
　　２部：技術展示６題

16:00　研究発表（セッション１）
　　地中熱利用型融雪システム　５題

18:00　大会ポスターコンクール表彰（～18:10）

18:30　交歓会　（会場　ワシントンホテル）

１２月３日（金）

9:00　研究発表（セッション２）
　　自然・未利用エネルギー（地中熱以外）融雪システム　７題
　　ポスターセッション（２部：技術展示　６題　継続）

12:00　休憩

13:00　研究発表（セッション３）
　　新技術・その他　　６題

15:25　閉会（～15:40）

（杉森理事 記）

＜報告＞

わくわく雪・氷観察塾

日　時：1999年8月2日13:00～16:30

場　所：塩沢町公民館他

講　師：遠藤八十一（森林総研・十日町），小林俊市（防災科研・長岡），
　　加藤正明（長岡市科学博物館），河島克久・遠藤徹（鉄道総研・塩沢）

参加者：18名
主　催：塩沢町教育委員会，（社）日本雪氷学会北信越支部

本観察塾は，塩沢町教育委員会が毎年夏休み期間中に，町内の小学校5-6年生と中学生を対象として開催している自主的な参加体験学習の場「しおざわのびのび塾」の一環として実施されたももであり，小学生13名と中学生5名の参加があった。実施内容は，ナダレンジャーとピンポン球なだれ（3万個）による雪崩の体験学習，残雪のある山の写真から雪形を創造する体験，平松式人工雪発生装置の作製と人工雪の観察，低温体験（-30℃の体験，バナナで釘打ち），南極の氷の音を聞く体験，水からかき氷を作って食べる実験（過冷却実験）と盛り沢山である。どの体験や実験も，子供たちにとっては未知のものであり，全員，楽しみながら積極的に参加していた。近年，北信越支部の会員が中心になって，支部地域の内外で雪氷に関する様々な教育普及活動を展開してきているが，本観察塾では，講師陣の豊富な経験から得られたノウハウの蓄積によって，短時間ながら有意義な活動が実施できた。
（河島幹事　記）

＜その他＞

支部幹事の追加について

9月16日付で、矢田豊会員（石川県林業試験場）が新たに支部幹事に加わることになりました。

※なお、次号のニューズレターは1999年12月10日発行予定です。こちらの原稿は11月20日頃までにお送り下さい。

日本雪氷学会北信越支部ニューズレター
原稿送付・問い合わせ先：小南靖弘，横山宏太郎
〒943-0193　新潟県上越市稲田1-2-1　北陸農業試験場　水田利用部　気象資源研究室
tel.: 0255-26-3234　/　Fax: 0255-24-8578　/ E-Mail: met@inada.affrc.go.jp